

なべ布団で、楽しく省エネ！

暖かいなべが、いつでもスタンバイ

煮物を焦がさずおいしく

なべごとくるんで保温する、石油高騰時代の主婦の知恵。
新聞や毛布にくるんで保温されている方は多いと思いますが、なべ布団は、寒い外から帰ってきた家族が、暖かい食事をすぐに食べることができるすぐれものです。食卓用に2～3枚作っておけば、とても重宝します。

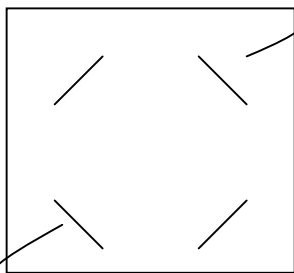


座布団型のものを試作してみたら、片手なべにも、なべのサイズにかかわらず使用でき、使わない時はいすの背もたれにでもかけておけば、片付けの手間もありません。保温効果も2～3時間程度は再加熱の必要が無いので、とっても省エネです。ぶり大根など、長時間加熱しなくてもとってもおいしく作れますよ。

なべ布団の作り方

用意するもの ・60×60センチ程度の表布（ウールか綿2枚）
・中綿（古いバスタオルと化繊綿1枚、もしくは毛布など）
・25センチ程度のひも2本

- ① ウール布を座布団カバーのように一方のみ開けて四角い袋を縫う。
- ② 内側に化繊綿をはさんだバスタオル（古いもので可）をつめ、開きを閉じる。
- ③ 4隅から10センチ程度のところを、中綿が動かないように留める。
- ④ 対角線上に結び紐を取り付けて、出来上がり。



面倒な方は、
市販の座布団カバーに綿を詰めて紐をつけたものでOKです。

お問い合わせは
埼玉エコ・リサイクル連絡会グリーンコンシューマー委員会まで